

「制度の活用と社会資源」

平成28年11月6日

精神保健福祉士高橋空美

自己紹介

- 高橋空美(たかはしたかみ)
- 神奈川県座間市出身
(座間キャンプ・コストコ...)
- 大学を卒業後、ハートクリニックへ
- 休日は...





本日のお話

- まずは、おさらい
- 社会資源とは
- 活用できそうな制度
- 制度を活用して
- 次回、家族教室のお知らせ

まずは、おさらい～社会復帰とは...

自分がどうなりたいか

自分らしい生き方

の実現

社会復帰は様々...

ボランティア活動
家業の手伝い
家事かできる
家族と出かける
友人と遊ぶ

アルバイト
パート
正社員

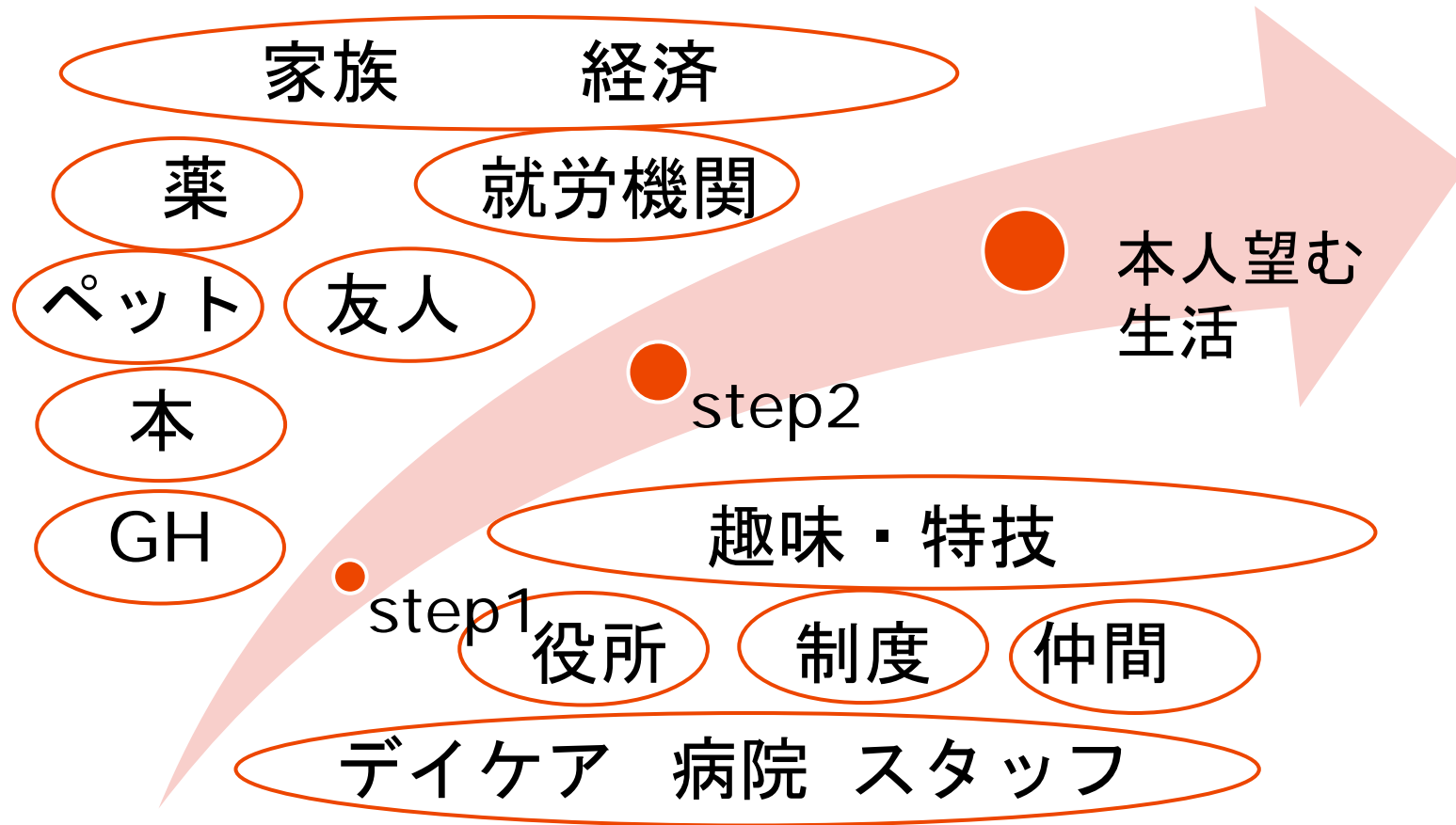
学校へ復帰
大学進学

「社会復帰」の形は様々...

社会資源とは...

生活のしづらさを抱える方に対して、それらを解決するために活用する各種の制度・施設・機関・設備・資金・物質・法律・情報・集団の有する知識や技術などの総称。

社会資源～社会復帰を支えるもの～





社会資源① ～本人自身が持つもの～

自分自身の長所

短所

容姿

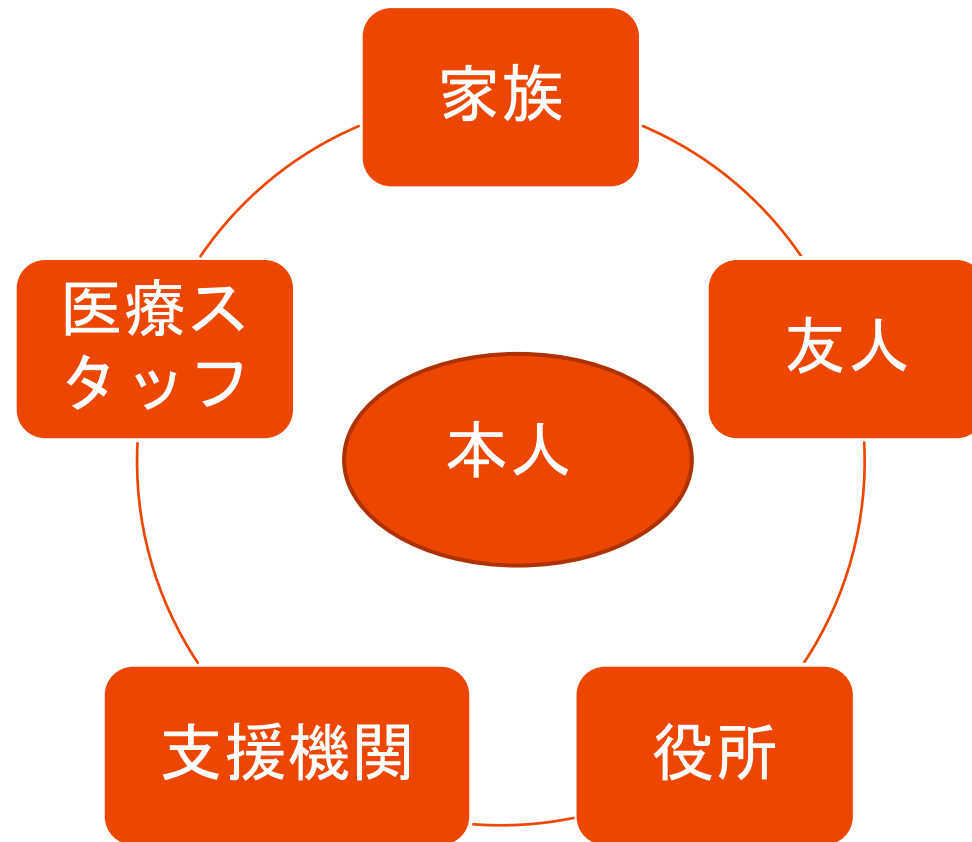
趣味

特技

持ち味

セールスポイント

社会資源② ～サポーター～



社会資源③

～施設～

デイケア

グループホーム

役所

講演会

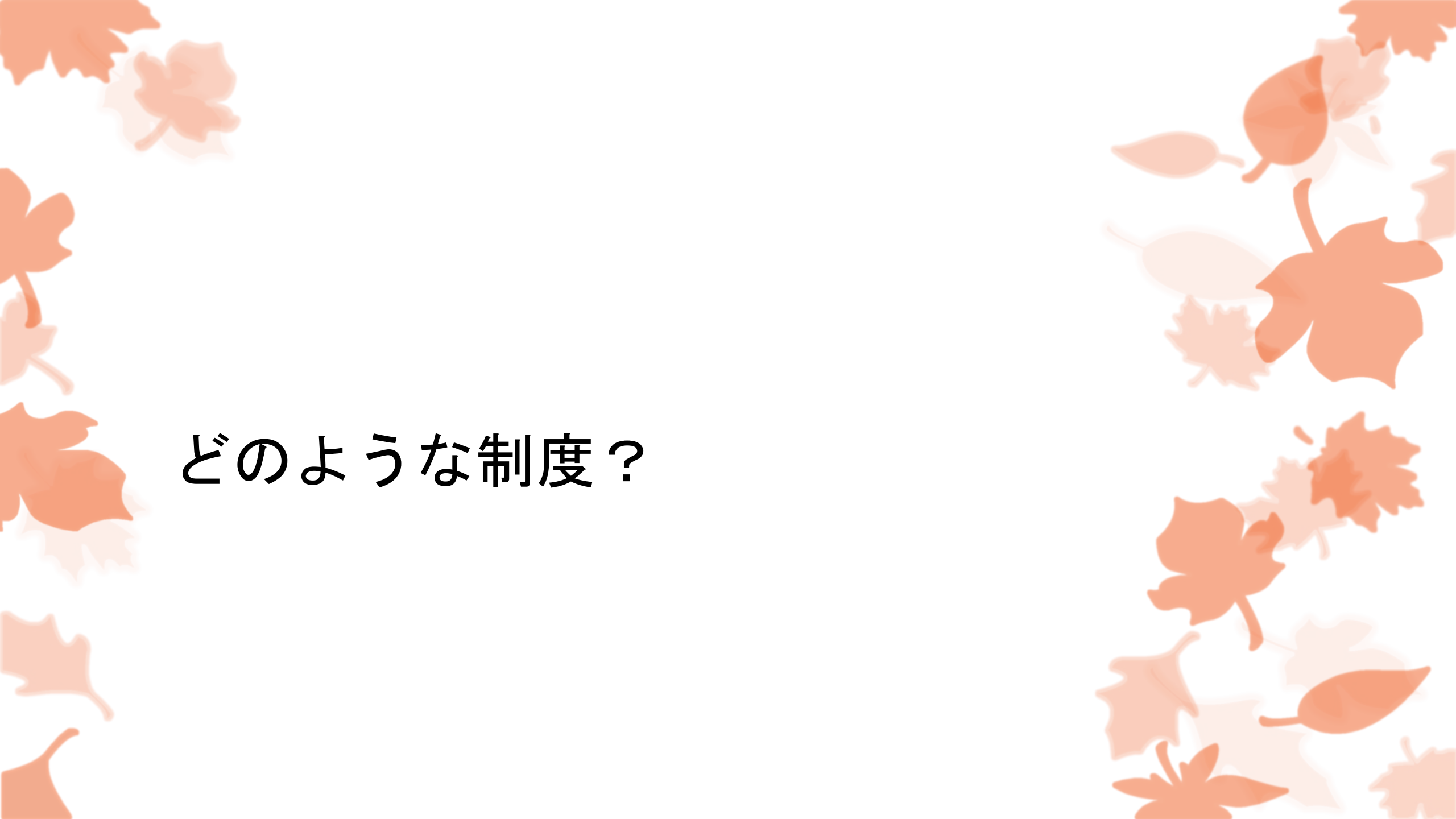
就労移行支援

就労継続支援A・B型

家族教室

社会資源④ ～制度～

- 自立支援医療
- 精神保健福祉手帳
- 障害年金
- 生活保護



どのような制度？

自立支援医療

- 定期的に精神科に通院している方に対し、外来診察代、薬代、精神科デイケア等に掛かる窓口負担軽減。3割から1割負担へ。
- 月々に負担する限度額が設定される。

自立支援制度

- もちもの

 - 診断書（ハートクリニックでは3000円）

 - 申請者の保険証

 - 印鑑・登録する医療機関・薬局の名称及び住所

- 申請後、1ヶ月～1ヶ月半で郵送で受給者証が届く。

- 年に1回更新が必要。（※診断書は、2年に1回）

精神保健福祉手帳

精神疾患を有するために、日常生活や社会生活のしづらさがある方に対し、社会復帰と自立、社会参加をも図ることが目的。

- ご本人の状態により、1級・2級・3級の等級
- 等級に応じたサービスが利用可能。

精神保健福祉手帳～サービス内容～

- 料金等の割引

 - NHK受信料の減免、水道料金の減免

- 税金の控除・減免

 - 所得税、住民税、相続税控除

 - 自動車税、自動車取得税の軽減

- その他

 - 市営・県営住宅への入居優遇入場料の割引

 - 障害者雇用の選択、医療費助成

精神保健福祉手帳

- 精神科(心療内科)へ6ヶ月以上通院。
- もちもの
診断書(ハートクリニックでは3000円)・印鑑
本人確認証・写真(縦4cm×3cm)・本人確認証
個人番号確認書類...etc.
- 市区町村の障害支援課等が窓口
- 2年毎に更新が必要

障害年金

- 病気や怪我により、日常生活に支障をきたして居る方に対して生活保障のために支払われる年金。
- 初めて受診してから、1年半以上経過していること。
- 年金の納付要件を満たしていること。
- 1年～5年毎に更新が必要。

生活保護

- 生活に困窮する方に対し、最低限度の生活を保障と自立の助長を目的とする。
- 世帯単位
- あらゆるものを活用
(他法優先・周りからの支援・経済価値のあるもの・働くことができるのであれば働く)



日中活動の場

精神科デイケア

- 生活リズムを整える
- 日中の居場所
- 他者との交流やプログラム活動
- 再発予防や今度の生活の見通しと考える...etc.

精神科・心療内科に通院している方で、主治医ち通所希望
先の精神科デイケアと利用の合意がある方。

その他のサービス～介護給付～

- 居宅介護...入浴、排せつ、食事などの生活全般における介助
- 重度訪問介護...常時介護を必要とする方に、自宅で入浴、排せつ、食事の介護、外出時における移動支援
- 行動援護...外出支援
- 短期入所(ショートステイ)...短期間、夜間も含め施設等で入浴、排せつ、食事の介護
- 生活介護...常時介護を必要とする方に、昼間、入浴、排せつ、食事の介助、創作活動又は生産活動の機会を提供

その他のサービス～訓練給付～

- 就労移行支援...一般の就労を希望する方に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上を行う。
- 労継続支援...一般企業等への就労を希望する方に、働く場の提供と知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う
- 共同生活援助...夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行う
- 自立訓練...自立した日常生活又は、社会生活が送れるよう、一定期間身体的又は生活能力の向上を行う。

その他のサービス～地域生活支援事業～

- 移動支援...円滑に外出できるように移動を支援。
- 地域活動支援センター...創作活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流等を行う。
- 福祉ホーム...住居を必要としている人に低額な料金で、居室等を提供、日常生活に必要な支援を行う。

その他のサービス～相談支援事情～

- 地域移行支援...障害者支援施設、精神科病院、児童福祉施設を利用する18歳以上の方を対象として、地域移行支援計画の作成、相談による不安解消、外出の同行支援、住居の確保、関係機関との連携を行う。
- 地域定着支援...居宅において単身で生活している障害者等を対象に常時連絡体制を確保し、緊急時には必要な支援を行う。

症例①

25歳男性

病名：躁うつ病

仕事をしたいが、朝が苦手であり、腹痛起きることがある。

無理すると落ち込む傾向にあった。

家族にも早く働くよう言われ焦り、本人自身も家族に迷惑かけれない。



精神保健福祉手帳

障害者雇用

職場の人

障害者年金

ジョブコーチスタッフ

症例②

22歳・女性

病名：うつ病

母と妹の3人生活。些細なことで母とケンカすることが多く、自分を責め落ち込むこと、寝たきりとなることがしばしばある。ケンカ後には、母から「食事を摂るな」と言われ、長期に食べずに過ごしたこともあった。いずれは、仕事がしたいため、仕事をしている母の代わりに家事をすることや妹の面倒をみるために自宅にこもりきりの生活であった。

症例②

生活訓練施設

生活保護

デイケア



まとめ

たくさんの社会資源が

本人の望む生活

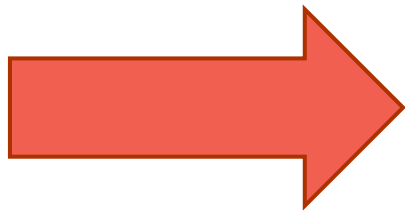
本人らしい生き方

支えている。

まとめ

社会資源を、まず知ること...

心配ごと メリットとは? デメリットとは?
生活がどのように変化するのだろうか?



家族教室を活用下さい。



ご清聴ありがとうございました。

次回、家族教室は、平成28年12月4日です。

16：00～ ご家族の話し合い

17：00～ セミナー「まとめ」